



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社アイロムホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2372 URL <http://www.irom-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長経営統括本部担当 (氏名) 犬飼 広明 (TEL) 03(3264)3148  
 兼経営統括本部長兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,936	△46.3	△350	—	△286	—	△238	—
25年3月期第3四半期	5,468	△41.3	260	—	418	—	1,514	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △114百万円(—%) 25年3月期第3四半期 1,514百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△25.50	—
25年3月期第3四半期	161.95	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,515	3,915	70.5
25年3月期	5,832	4,021	68.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,889百万円 25年3月期 4,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△23.9	400	8.2	420	△28.5	350	△80.0	37.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,351,420株	25年3月期	9,351,420株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,070株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,350,790株	25年3月期3Q	9,351,420株

・当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主な取引先である製薬業界におきましては、少子高齢化に伴う医療費抑制策を反映した公定薬価の引下げ及びジェネリック医薬品の普及等に伴い平均単価が下落傾向にある一方、高齢化の進行ならびに生活習慣病の増加等を背景に需要が増加し、緩やかな市場拡大が続いております。また、アンメットメディカルニーズの高い疾病領域への進出に加え、国内市場の飽和を背景とし、新興国地域における販売網の拡大ならびに海外企業の買収による規模の拡大と研究開発力の強化が図られております。

SMO(治験施設支援機関)業界におきましても、製薬業界及び医療機関のニーズにこたえるため、治験の効率化・迅速化に加えアンメットメディカルニーズの高い疾病領域へのきめ細やかな対応などが求められております。

こうした状況下、当社グループは、新薬の開発支援事業であるSMO事業に注力する体制を整えております。また、細胞治療、再生医療等の先端医療技術を保有する企業及びアジア・オセアニア地域における臨床研究／臨床試験に関わる企業との戦略的パートナーシップ契約を締結するなど、強固なアライアンスを構築することにより、ハイブリッド型サービス(※)など引き続き新たなビジネスモデルの創出を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、平成24年12月1日付にて医薬品等の販売事業を事業譲渡したこともあり、売上高は2,936百万円(前年同四半期比46.3%減)と前年に比べ減収となりました。利益面につきましては、営業損失は350百万円(前年同四半期は営業利益260百万円)、経常損失は286百万円(前年同四半期は経常利益418百万円)、四半期純損失は238百万円(前年同四半期は四半期純利益1,514百万円)となりました。

## ※ハイブリッド型サービス

- ①日本国内市場では、当社グループの基盤であるSMO事業を中心とした臨床研究／臨床試験の促進を目的とし高品質な支援を提供するサービス。
- ②グローバル市場(特に、アジア・オセアニア地域)では、各種業務提携を通じ、SMOのノウハウを各国の法令に準拠した形でCRO業務と併せて製薬企業及び医療機関に提供するサービス。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① SMO事業

当セグメントにおきましては、得意領域である生活習慣病の他、整形外科、皮膚科、泌尿器科各領域における案件に加え、昨年度新たに支援を開始した、治験専門病院におけるフェーズⅠや同等性試験の拡大が寄与しております。また、当期は世界的に見ても難易度の高い早期国際共同臨床試験の支援、医師主導の臨床試験等の包括的な支援への対応、オセアニア地域での臨床試験のコンサルティングの体制構築を進めており、いよいよグローバル水準に対応したハイブリッド型サービスを追及する段階となりました。さらに当第3四半期連結会計期間にも中堅SMOであるMCフィールズ株式会社をグループ化したことにより、東北地区を含めた医療機関の提携拡大を図ることができると共に、生活習慣病、特に糖尿病領域の受託強化につなげており、事業拡大のため、国内においては積極的なM&Aを展開しております。その結果、受託する案件も昨年度に比して多様化しましたが、売上高は2,024百万円(前年同四半期比21.3%減)、営業損失は154百万円(前年同四半期は営業利益433百万円)となりました。

## ② メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、従来からの都市部における地域医療に対する貢献に加え、グループ内における主力事業であるSMO事業との相乗効果の創出及び拡大を目標としております。具体的には、臨床試験・臨床研究参加に協力的な医師や医療機関の募集・紹介、新規事業・コンサルティングに伴う提携医療機関の拡大などを進めてまいりました。また、業務改善による固定費削減等を図るとともに、既存モール等の更なる収益力向上を進めた結果、売上高は894百万円(前年同四半期比114.8%増)、営業利益は108百万円(前年同四半期比3,080.7%増)となりました。

## ③ その他

その他の事業におきましては、不動産賃貸収入等が計上されており売上高は17百万円(前年同四半期比71.1%減)、営業損失は19百万円(前年同四半期は営業利益24百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,515百万円（前連結会計年度比316百万円の減少）となりました。これは投資有価証券が643百万円増加した一方で、売掛金が447百万円、長期貸付金が167百万円、有形固定資産の売却等により建物及び構築物、土地が405百万円減少したことが主な原因となっております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は1,600百万円（前連結会計年度比210百万円の減少）となりました。これは、未払法人税等が85百万円、買掛金が25百万円減少したことが主な原因となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,915百万円（前連結会計年度比105百万円の減少）となりました。これは、その他有価証券評価差額金111百万円が増加した一方で四半期純損失238百万円を計上したことによる減少が主な原因となっております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,926	1,631
売掛金	1,061	614
仕掛品	213	419
販売用不動産	394	—
繰延税金資産	18	—
その他	632	737
貸倒引当金	△16	△22
流動資産合計	4,231	3,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	465	295
土地	367	132
その他(純額)	41	76
有形固定資産合計	874	504
無形固定資産		
その他	38	137
無形固定資産合計	38	137
投資その他の資産		
投資有価証券	181	824
長期貸付金	661	494
差入保証金	422	515
その他	399	425
貸倒引当金	△977	△767
投資その他の資産合計	687	1,493
固定資産合計	1,601	2,135
資産合計	5,832	5,515
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92	66
未払法人税等	93	8
前受金	517	523
その他	645	466
流動負債合計	1,348	1,064
固定負債		
長期借入金	—	49
長期預り保証金	323	317
繰延税金負債	43	68
資産除去債務	96	96

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
その他	—	3
固定負債合計	462	535
負債合計	1,810	1,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,286	2,687
資本剰余金	7,577	—
利益剰余金	△9,855	1,083
自己株式	—	△4
株主資本合計	4,008	3,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	111
為替換算調整勘定	△0	12
その他の包括利益累計額合計	△0	123
新株予約権	13	12
少数株主持分	—	13
純資産合計	4,021	3,915
負債純資産合計	5,832	5,515

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,468	2,936
売上原価	3,753	2,381
売上総利益	1,714	554
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	532	221
支払手数料	152	178
その他	768	506
販売費及び一般管理費合計	1,453	905
営業利益又は営業損失(△)	260	△350
営業外収益		
受取利息	23	31
債務保証損失引当金戻入額	191	—
貸倒引当金戻入額	218	61
その他	43	26
営業外収益合計	476	118
営業外費用		
支払利息	8	—
貸倒引当金繰入額	192	—
支払手数料	68	0
為替差損	—	51
その他	49	2
営業外費用合計	319	54
経常利益又は経常損失(△)	418	△286
特別利益		
固定資産売却益	193	46
投資有価証券売却益	241	—
事業譲渡益	775	—
その他	2	7
特別利益合計	1,213	53
特別損失		
固定資産除却損	0	2
その他	—	1
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,631	△236
法人税、住民税及び事業税	151	8
法人税等調整額	△34	△6
法人税等合計	117	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,514	△239
少数株主損失(△)	—	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,514	△238



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損失(△)	—	△1
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,514	△239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	111
為替換算調整勘定	△0	13
その他の包括利益合計	△0	124
四半期包括利益	1,514	△114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,514	△113
少数株主に係る四半期包括利益	—	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

当社は、平成25年6月27日開催の定時株主総会決議により、平成25年10月1日をもって、資本金3,599百万円、資本準備金7,577百万円及び利益準備金4百万円を減少し、それぞれその他資本剰余金及び繰越利益剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金の全額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。